

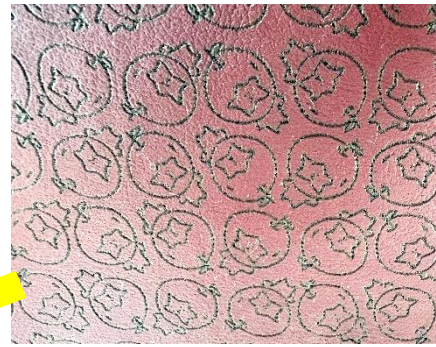
1年生の発表



2年生の発表



地域の方の講評



起業講座の生徒が開発した飯綱町ふるさと納税の返礼品のリンゴの木を使った時計（写真左）、台座（写真右）は、リンゴレザーに飯綱町のキャラクター「みつどん」の模様が入っているそうです

農業講座の生徒が関わったリンゴのシードルには生徒がデザインしたラベルが採用されました

3月6日本校の講堂で、北部高校の地域授業発表会が開かれました。

1年生は、リンゴ栽培、そば・おやきづくり、福祉交流などの年間を通じた体験活動から学んだ地域の良さや課題を発表してくれました。

2年生は、1年生のときの体験をもとにひとり一人が「環境と自然」「保育」「郷土料理と歴史」「農業・起業」の中から、自分が関心のあることを選び自分なりに調べた答えを導き出していました。

発表後の講評では、学習に関わった地域の方々から、高校生の学びの成果の素晴らしさに感心したとの声がありました。

昨年の12月に北部高校の3年生が、飯綱町の特産品のPRや観光資源の開発などの地域の発展につながるアイデアを考え、飯綱町長に提案したという新聞記事を読みました。そこには飯綱町長「これからも町に住みたくなるような提案をどんどんしてほしい」というコメントがありました。

北部高生の地域に貢献する姿の背景には、この地域授業の学びがあると感じました。